2025

2025（令和７）年度

徳島文理大学 大学院 文学研究科 博士前期課程
博士後期課程

地 域 文 化 専 攻

# 学 生 募 集 要 項

徳島文理大学 大学院

## 文学研究科 地域文化専攻　　アドミッション・ポリシー

文学研究科は，地域社会の創造的発展に寄与しうる学識と研究能力，学問的客観性を体得した人材の育成を目指しています。地域文化専攻には「文化と地域」「言語・文学と地域」の二つの研究区分があり，それぞれの研究領域において，特別講義と演習を設定し，上述の目的を達成すべく教育と研究に取り組んでいます。本研究科は，専攻分野に必要な知識及び語学力を持ち，地域文化に深い関心と熱意を持って意欲的に学術研究を進めようとする人を求めます。

香川キャンパス（さぬき市志度）は，2025（令和７）年４月１日を以て，高松駅キャンパス（高松市浜ノ町）へ移転しますが，入学試験要項上の記載はすべて，香川キャンパスと表記します。なお，2025（令和７）年度入学試験関係の業務（願書受付・入学試験場等）は，香川キャンパス（さぬき市志度）で行います。

# 地域文化専攻博士前期課程募集要項

1　募　集　人　員

地域文化専攻　　6 名

2　出　願　資　格

⑴　学校教育法第83条に定める大学を卒業した者および2025年 3 月までに卒業見込みの者

⑵　大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（学校教育法施行規則第155条第 1 項第 1 号）

⑶　外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2025年 3 月までに修了見込みの者（学校教育法施行規則第155条第 1 項第 2 号）

⑷　本学大学院において，個別の入学資格審査により，学校教育法第83条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，入学時に22歳以上に達する者（学校教育法施行規則第155条第 1 項第 8 号）

なお，これにより出願しようとする者は，本大学院の入学資格審査を行いますので，出願前に余裕を持って，文学研究科までお問い合わせください。

※外国人留学生については，「外国人留学生募集要項」により募集しますので，文学研究科までお問い合わせください。Ⅰ期は，「日本国外居住者」「日本国内居住者」とも出願できます。Ⅱ期は，「日本国内居住者」のみ出願できます。在留資格「短期滞在」で日本に滞在している者は「日本国内居住者」とは認めません。

3　入　試　日　程

| | 出　願　期　間 | 試　験　日 | 合格発表日 | 納入・手続書類締切日 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ期 | 2024年<br>7 月12日(金)～ 7 月22日(月)必着 | 2024年<br>8 月 2 日(金) | 2024年<br>8 月 9 日(金) | 2024年 8 月23日(金)必着 |
| Ⅱ期 | 2025年<br>2 月12日(水)～ 2 月21日(金)必着 | 2025年<br>3 月 3 日(月) | 2025年<br>3 月 8 日(土) | 2025年 3 月21日(金)必着 |

4　出　願　手　続

⑴　出願書類等

出願資格⑷により，出願する者は，本学発行の「入学資格認定証」のコピーを提出してください。③と④の提出は不要です。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 入学願書・写真票 | 本学所定の用紙。３か月以内に撮影した上半身・無帽・正面の顔写真を貼り付け |
| ② | 志　望　理　由　書 | 本学所定の用紙(様式１) |
| ③ | 成　績　証　明　書 | 出身学校の学長等が作成し，厳封したもの |
| ④ | 卒業(見込)証明書 | 出身学校(長)が作成したもの |
| ⑤ | 学位授与証明書 | 出願資格２の⑵に該当する者は，大学評価・学位授与機構が作成したものを提出してください。<br>・学位を授与された者<br>学位記の写しまたは学位授与証明書<br>・学位取得見込みの者はアおよびイ<br>ア　志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書<br>イ　志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定がある旨が記載された証明書（申請を受理された者は，大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書） |
| ⑥ | 入学検定料(30,000円) | 本学所定の納付書を用いて金融機関の窓口で振り込み,「振替払込受付証明書(払込金受付証明書)」を願書の入学検定料払込証明書貼付欄に貼り付け |
| ⑦ | 受　験　許　可　書 | 出願時に官公署，企業等に勤務し，入学後もその職にある場合は，提出(本学所定の用紙 様式２) |

※改姓等の理由により，入学願書と証明書等記載の氏名の表記が異なる場合は，その変更内容が確認できる公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。

⑵　出願方法

**市販の封筒(角形２号)に「大学院文学研究科入学願書在中」と朱書きし，簡易書留・速達で郵送してください。**

⑶　出願書類送付先

**徳島文理大学 香川キャンパス 教務課 入学試験係**

〒769-2193　香川県さぬき市志度1314-1

⑷　いったん提出した出願書類及び入学検定料は返還しません。

⑸　受験票の発送には，出願書類受領後，１週間程度を要します。受験票が試験日の３日前までに届かない場合や記載事項に誤りがあった場合は，教務課入学試験係まで問い合わせてください。(TEL 087-899-7450)

5　選　考　方　法

学力検査，志望理由書，面接及び学業成績等を総合して判定します。

本学を2025年３月卒業見込みの者は面接及び学業成績等を総合して行いますので，願書の受験科目は記入する必要がありません。

6　試験時間・科目及び場所

| 時　間　・　科　目 | | | 場　所 |
|---|---|---|---|
| ９：30 ～ 11：30 | 12：30 ～ 14：00 | 14：15 ～ | |
| 専門科目<br>別表Ⅰに掲げた専門分野のうち第１志望に関する内容とする。 | 外国語<br>英語，ドイツ語，フランス語，中国古典語の中から１つを選択する。<br>ただし，母国語の選択は認められません。 | 面　接<br>口述試験 | 徳島文理大学<br>香川キャンパス<br><br>香川県さぬき市<br>志度1314－1 |

１限目試験開始後，20分を経過した遅刻者は，すべての科目を受験することができません。

7　志望研究区分

別表Ⅰ・Ⅱに掲げた研究区分及び講座，指導教員から第１志望と第２志望を選択してください。
希望者は，事前に開講の内容について問い合わせてください。

8　合　格　発　表

合否の結果は郵便で本人に通知します。なお，電話による問い合わせには応じられません。
合格発表日から２日を過ぎても通知が届かない場合は，教務課入学試験係まで問い合わせてください。

9　入 学 手 続 等

合格者は合格通知受領後，所定の期日までに下記⑴⑵の入学手続きをしてください。

⑴　提 出 書 類

①　誓約書(本学所定の用紙)　　１通
②　住民票記載事項証明書　　１通
③　キャンパスカード(学生証)申込用紙　　１通
④　出身学校の卒業証明書　　１通
　卒業見込みで受験した者は，入学後に提出すること(本学卒業者は省くことができます。)

⑵　学　納　金

①　入学金　　200,000円
②　学費等(半期)
　授業料　　150,000円
　施設費　　100,000円 ※
　☆その他納付金
　協力費　　前・後期　各16,500円（税込）
　研修部費　　前・後期　各 1,650円（税込）
　研修部入会金　入学手続き時のみ　　1,000円 ※
　○※本学大学卒業生は施設費及び研修部入会金を免除します。
　○後期の学費等は，９月の指定する日までに納入してください。

入学手続き完了後に，入学を辞退する場合は，2025年３月31日(月)(必着)までに本学が定める手続きにより申し出た場合に限り，入学金以外の納付金を返還します。辞退される方は，メールで辞退届(本学所定の用紙)を請求してください。手続きの詳細は，合格通知に同封する「合格者へ(連絡)」を参照してください。

別表Ⅰ

| 専　攻 | 研　究　区　分 | 専　　門　　分　　野 |
|---|---|---|
| 地域文化 | 文　化　と　地　域 | 考古学　　歴史学　　文化史学　　地理学　　比較文化学 |
| | 言語・文学と地域 | 言語学　　国語学　　英語学　　日本文学　　英文学　　米文学 |

別表Ⅱ（その１）

| 研究区分 | 講　　座 | 指導教員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| 文化と地域 | 都　市　地　域　学 | 教授　清水　真一 | 身近に残る歴史的な都市や地域(集落・町並)を事例として，社会経済的背景と立地環境，都市構造，景観，建築形態を分析して，都市や地域の成立過程と今日に至るまでの歴史的な変遷過程を分析する研究方法を学び，さらに，都市・地域における歴史的な資産の保存と活用を通じた地域づくりの方法を身につける。 |
| | 地　域　地　形　学 | 教授　古田　　昇 | 瀬戸内沿岸と日本海および太平洋沿岸における各地に発達するさまざまな種類・規模の平野をとりあげ，地形環境・地質・堆積環境と形成プロセス，微地形と遺跡立地との関係をミクロに分析し，平野のおいたちと人間活動との関わりを考える。ハザードマップ・GIS(地理情報システム)演習やフィールドワークも行う。 |
| | 比　較　文　化 | 教授　中島　正太 | 特定の国や地域にとどまらず，様々なエリアの文学や文化を比較・研究するにあたって理解しておきたい基礎的概念について，それが持つ現代的な意味も含めて検証する。その上で19世紀～20世紀の英文学について，そこに描かれた社会問題や「語り」などの技法をヨーロッパ(主にドイツ，フランス)の文学や日本文学を視野に入れながら考察する。 |
| | 言　語　文　化　史 | 教授　下田　祐輔 | 「日本の霊性と文学」をテーマとし，東洋の精神文化をバックボーンとしつつ独自の詩境を拓いていった先人の著作（例えば良寛自撰詩集『草堂集』）を新たな視座のもとに詳細に読み解くことを中心に据え，関連する和漢洋の文献を渉猟しつつ読み込み，それらの中に脈々と息づいている人間の心の神髄について探究を深めていく。 |
| | 言　語　文　化　史 | 教授　近藤　政行 | 源氏物語と今昔物語集とを資料として，出来事の叙述がどのように行われるのかについて考察したい。当然、助動詞「き」「けり」の問題も扱うことになるが，物語や説話の叙述が映画などの映像表現とどのように異なるのかといった問題にも及びたいと思う。 |
| | 地　域　考　古　学 | 教授　大久保徹也 | 今日，原始・古代社会の分析に限らず歴史研究のより広い領域で考古学研究が効力を発揮している。ただし考古学研究の成果を有効に活用するためには資料の特性とそれに応じた分析方法を熟知することが必要となる。本講ではこの観点から具体的な研究事例を参照しつつ，実践的な考古学研究法を検討・考察する。 |
| | 地　　域　　史 | 教授　上野　　進 | 戦後直後，林屋辰三郎は今後の歴史学が追求すべき課題として地方史・部落史・女性史の３つをあげた。その頃とは異なる社会状況の下で，それぞれは多様な成果の蓄積をみて歴史学の基盤となりつつある。光と影を伴う地域の歴史に対して真摯な姿勢に立ち，四国遍路関連史料など地域で育まれた中世・近世の史料を見直してみたい。 |

別表Ⅱ（その２）

| 研究区分 | 講座 | 指導教員 | 研究内容 |
|---|---|---|---|
| 言語・文学と地域 | 国語学 | 教授　青木　毅 | 近年の国語学に関する研究論文を批判的に読みながら，その資料・方法・成果を検討する。また，実際の文献資料から問題点を見出して調査・研究を行うことにより，国語学の研究方法を学ぶ。これらの講義・演習を通して，論文作成の方法・技術の習得を目指す。 |
| | 英語学 | 教授　篠田　裕 | 英語学の文献を批判的に読みながら，その分野の知識を得るとともに，問題提起・先行研究の紹介・議論の展開・自説の提示など，論述の仕方を学んでいく。それを通じて，論文の典型的な書き方を修得し，自ら修士論文を書く際の手がかりとする。 |
| | 日本文学 | 教授　佐々木　亨 | 和本における書誌学としての知識を体得する。近世期の版本を用いながら，名称と実態を重ね合わせながら具体的に学ぶ。併せて早印と後印の違いと各々の持つ意味についても考察を深めてゆく。加えて変体仮名の読解に取り組むべく，写本と版本各々を用いながら単に字体をなぞるのみではなく，文脈から読解・解釈する態度を身に付ける。 |
| | 日本文学 | 教授　上田　穂積 | 日本近代文学における＜私(わたくし)＞の問題を考える。最終的には，志賀直哉のテクストを分析することを目的にしているが，その過程において，日本近代文学の歴史における＜自己表象＞の問題についても考えていきたい。 |
| | 日本文学 | 教授　中山　弘明 | 明治から大正期の様々な文学言説を，それが書かれた時代に注意しつつ読む。その際特に＜戦争＞と文学の関係を重視したい。日清・日露戦争，そして第一次大戦などがそれになる。具体的には政治小説，二葉亭四迷から漱石・鷗外，さらには宮沢賢治あたりまで視野に入れたい。また絵画，写真，映画などもとりあげる。 |
| | 英文学 | 教授　中島　正太 | シェイクスピアから現代まで，英文学の発展に大きな影響を与えた詩や短編を一語一語英文で丁寧に読み，そこから得た自分の考えを英語で書いたり発表したりすることで，研究者としての基礎を固める。またジョイスやイシグロなど，英国出身でない英語作家について考察することで「『英文学』から『英語文学』へ」という時代の流れを読み解く。 |
| | 米文学 | 講師　山本　義浩 | 20世紀以降のアメリカ文学作品，主にウィリアム・フォークナーの小説を原書で精読し，テクスト読解の訓練を行う。また，精神分析，構造主義，ポスト構造主義，フェミニズムなどに基づく批評理論を活用し，作品解釈の方法を実践的に学ぶことで，文学研究者としての基礎を固める。 |
| | 言語学 | 教授　篠田　裕 | 人が新規情報に出会ったとき，それをどのようにとらえ，言語にどう表示するかについて，学んでいく。新情報・情報の縄張り・エビデンシャリティ・ミラティビティ・終助詞・ジョークなど，情報の帰属や受け入れにかかわると思われる言語現象を幅広く取り上げ，考察したい。 |

※別表Ⅱは2024(令和６)年度の開講の内容です。

# 徳島文理大学大学院文学研究科
# 博士前期課程入学願書

2025(令和７)年度　Ⅰ期・Ⅱ期

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | | 男・女 | 受験番号 |
| 氏名 | | | (記入不要) |
| 生年月日 | 年　月　日 | | |

| | 研究区分 | 講座 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 第１志望 | | | |
| 第２志望 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 受験科目※ | 外国語<br>(選択科目を○で囲む) | 英語・ドイツ語・フランス語・中国古典 |
| 最終学歴 | 大学　学部　学科 | |
| 卒業・修了(見込)年月 | (西暦)　年　月 | 卒業／修了・卒業見込／修了見込　(○で囲む) |

| 職歴〔在職中の者は，記入してください〕 | 在職期間 年(西暦) | 月 | ～ | 年(西暦) | 月 | 勤務先・職種(職名)等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ～ | | | |
| | | | ～ | | | |
| | | | ～ | | | |

| | |
|---|---|
| 受験票等送付先 | 〒<br><br>自宅電話番号(　　)　携帯電話番号(　　)<br>メールアドレス(　　@　　) |

※受験科目は，本学を卒業見込みの者は記入不要
受験票等送付先には，受験票，合否通知，入学手続等の書類を受取る住所を記入してください。

切り取らないこと

## 入学検定料払込証明書 貼付欄

振替払込受付証明書
払込金受付証明書

(志願者→金融機関→志願者→大学)

入学検定料　30,000円

・全面のりで貼ってください。
・金融機関の領収印がないものは無効です。

切り取らないこと

2025(令和７)年度
徳島文理大学
大学院文学研究科　博士前期課程

## 写真票

| 受験番号 |
|---|
| (記入不要) |

顔写真貼付欄

・サイズ　縦4cm×横3cm
・上半身・無帽・正面
・３か月以内に撮影
・写真の裏面に氏名を記入してください。

| | |
|---|---|
| 専攻 | 地域文化専攻 |

| | |
|---|---|
| フリガナ | |
| 氏名 | |

様式１

# 徳島文理大学文学研究科博士前期課程　志望理由書

| 氏　名 | | 指導教員 | 第１志望 | 第２志望 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

１．卒業研究の要点，又はこれまでにおける専門的関心について述べよ。

２．本研究科，専攻に入学を希望する理由を述べよ。

３．入学後の研究テーマ及びその目的を述べよ。

４．前期課程修了後の希望・計画を述べよ。

様式２

年　　月　　日

徳島文理大学長　殿

所　在　地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

役　　職＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

# 受　験　許　可　書

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿年　　月　　日生

上記の者が，徳島文理大学大学院文学研究科地域文化専攻博士前期課程入学試験を受験することを許可します。

なお、同人が貴大学院文学研究科に入学した場合には、在職のまま就学することを承諾いたします。

# 地域文化専攻博士後期課程募集要項

1　募　集　人　員

地域文化専攻　　3　名

2　出　願　資　格

⑴　修士の学位を有する者および2025年３月までに同学位取得見込みの者

⑵　本学大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，入学時に24歳以上に達する者（学校教育法施行規則第156条第７号）
なお，これにより出願しようとする者は，本大学院の入学資格審査を行いますので，出願前に余裕を持って，文学研究科までお問い合わせください。

※外国人留学生については，「外国人留学生募集要項」により募集しますので，文学研究科までお問い合わせください。「日本国内居住者」のみ出願できます。在留資格「短期滞在」で日本に滞在している者は「日本国内居住者」とは認めません。

3　入　試　日　程

| 出　願　期　間 | 試　験　日 | 合格発表日 | 納入・手続書類締切日 |
|---|---|---|---|
| 2025年<br>２月12日(水)～２月21日(金)必着 | 2025年<br>３月３日(月) | 2025年<br>３月８日(土) | 2025年３月21日(金)必着 |

4　出　願　手　続

⑴　出願書類等
出願資格⑵により，出願する者は，本学発行の「入学資格認定証」のコピーを提出してください。②～⑥の提出は不要です。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 入学願書・写真票 | 本学所定の用紙。３か月以内に撮影した上半身・無帽・正面の顔写真を貼り付け |
| ② | 修士論文（１部） | 修士論文の写しまたはそれに準ずるもの |
| ③ | 修士論文要旨（１部） | 2,000字以内にまとめたもの |
| ④ | 修士課程修了（見込）証明書 | 出身学校(長)が作成したもの |
| ⑤ | 修士課程成績証明書 | 出身学校の学長等が作成し，厳封したもの |
| ⑥ | 推　　薦　　書 | 出身学校長又は指導教授の推薦書(様式随意) |
| ⑦ | 入学検定料(30,000円) | 本学所定の納付書を用いて金融機関の窓口で振り込み,「振替払込受付証明書（払込金受付証明書）」を願書の入学検定料払込証明書貼付欄に貼り付け |
| ⑧ | 受　験　許　可　書 | 出願時に官公署，企業等に勤務し，入学後もその職にある場合は，提出(本学所定の用紙 様式３) |

※改姓等の理由により，入学願書と証明書等記載の氏名の表記が異なる場合は，その変更内容が確認できる公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。

⑵　出願方法
**市販の封筒(角形２号)に「大学院文学研究科入学願書在中」と朱書きし，簡易書留・速達で郵送してください。**

⑶　出願書類送付先
**徳島文理大学 香川キャンパス 教務課 入学試験係**
〒769-2193　香川県さぬき市志度1314-1

⑷　いったん提出した出願書類及び入学検定料は返還しません。

⑸　受験票の発送には，出願書類受領後，１週間程度を要します。受験票が試験日の３日前までに届かない場合や記載事項に誤りがあった場合は，教務課入学試験係まで問い合わせてください。（TEL 087-899-7450）

5　選　考　方　法

学力検査等を総合して判定します。

6　試験時間・科目及び場所

| 時　間　・　科　目 | | 場　　所 |
|---|---|---|
| 9 ：30 ～ 11：30 | 13：00 ～ | |
| 外 国 語<br>英語，ドイツ語，フランス語，中国古典語の中から１つを選択する。ただし，母国語の選択は認められません。 | 専門科目<br>修士論文を中心とした口述試験。 | 徳島文理大学香川キャンパス<br>香川県さぬき市志度1314－1 |

１限目試験開始後，20分を経過した遅刻者は，すべての科目を受験することができません。

7　志望研究区分

別表（その１）（その２）に掲げた研究区分及び講座，担当教員から第１志望と第２志望を選択してください。

8　合　格　発　表

合否の結果は郵便で本人に通知します。なお，電話による問い合わせには応じられません。
合格発表日から２日を過ぎても通知が届かない場合は，教務課入学試験係まで問い合わせてください。

9　入 学 手 続 等

合格者は合格通知受領後，所定の期日までに下記⑴⑵の入学手続きをしてください。

⑴　提 出 書 類

①　誓約書（本学所定の用紙）　１通
②　住民票記載事項証明書　１通
③　キャンパスカード（学生証）申込用紙　１通
④　出身学校の修了証明書　１通
　修了見込みで受験した者は，入学後に提出すること（本学修了者は省くことができます。）

⑵　学　納　金

①　入学金　200,000円 ※
②　学費等（半期）
　授業料　150,000円
　施設費　100,000円 ※
☆その他納付金
　協力費　前・後期　各16,500円（税込）
　研修部費　前・後期　各 1,650円（税込）
　研修部入会金　入学手続き時のみ　1,000円 ※
○※本学大学院博士前期課程・修士課程修了者は，入学金と施設費及び研修部入会金を免除します。
○後期の学費等は，９月の指定する日までに納入してください。

入学手続き完了後に，入学を辞退する場合は，2025年３月31日（月）（必着）までに本学が定める手続きにより申し出た場合に限り，入学金以外の納付金を返還します。辞退される方は，メールで辞退届（本学所定の用紙）を請求してください。手続きの詳細は，合格通知に同封する「合格者へ（連絡）」を参照してください。

別　表（その１）

| 研究区分 | 講　　座 | 担当教員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| 文化と地域 | 地域考古学 | 教授　大久保徹也 | 原始・古代社会の分析に限らず，より広い歴史学研究の領域で考古学という分析・研究手法を有効に用いるには資料の特性を踏まえた分析方法を熟知することが求められる。また社会分析の導きとなる歴史理論に対する深い理解も同時に必要である。ここでは弥生・古墳時代社会の分析研究を事例に，考古資料の評価からそれを前提とした社会分析の方法を考察する。 |
| | 都市地域学 | 教授　清水　真一 | 歴史的な都市や地域(集落・町並)の成立から今日までの変遷過程を，社会経済的背景を踏まえながら都市の形態的分析を通じて明らかにする分析方法を考察し，さらに，都市・地域における歴史的な資産の保存と活用を通じた地域づくりの方法を考究する。 |
| | 環境歴史学 | 教授　古田　　昇 | 瀬戸内沿岸と，日本海および太平洋沿岸における各地に発達するさまざまな種類・規模の平野をとりあげ，地形環境・地質・堆積環境と形成プロセス，微地形と遺跡立地との関係をミクロに分析し，平野のおいたちと人間活動との関わりを考究する。ハザードマップ・ＧＩＳ(地理情報システム)の演習やフィールドワークも行う。 |

別　表（その２）

| 研究区分 | 講　　座 | 担当教員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| 言語・文学と地域 | 英　語　学 | 教授　篠田　　裕 | ユーモアの不一致理論に基づき，ジョークを分析する。ユーモアの３大理論から始めて，不一致とは何か，ジョークの構造，その他の言語現象と不一致との関係，などについて考察していく。 |
| | 英　文　学 | 教授　中島　正太 | 英文学がどのように時代を反映しながら発展していったのかを主に19世紀から20世紀の作家・作品を中心に検証する。19世紀ではCharles Dickens，Charlotte Bronte，George Eliotといった作家をとりあげ，20世紀ではE.M.Forster，Virginia Woolf，James Joyceといった作家を扱う。またこれらの作家たちが前時代の古典的作品から影響を受けている可能性を考慮し，必要に応じて18世紀以前の作家(特にShakespeare)も視野に入れて考察する。 |
| | 日　本　文　学 | 教授　佐々木　亨 | 近世期に深化をみた版本の挿絵について具体的にその一プロセスを辿る。八文字屋本における画面分割された挿絵が意味するもの，赤本における複雑な絵解きの手法，仮名垣魯文の滑稽本に見られるジャンル破壊の実態等々を，作品を丁寧に読み解きながら明らかにして，挿絵と本文が持つ相互の緊密性と独立性を考究する。 |
| | 日　本　文　学 | 教授　中山　弘明 | 第一次世界大戦期，及び戦間期という枠組みは，従来，日本文学・文化の研究においては等閑に付されて来た。しかし近年のグローバル化の中で，こうした問題が再考されつつある。本研究では，拙著『第一次大戦の<影>』(新曜社)，『戦間期の『夜明け前』』(双文社出版)の問題意識を継続しつつ，そこに島崎藤村の世界戦争との遭遇，及び『夜明け前』の受容を関わらせる。戦争の世紀における日本文学・文化の巨視的・微視的な検討が課題となる。 |
| | 言語文化史 | 教授　下田　祐輔 | 良寛の詩歌に関する研究において，文献学的研究，同時代の文学思潮乃至地方文化との関係の解明，また，例えば思索者の詩という観点からの時代横断的な検討等，多くの課題がある。就中，丹念に織り成された自撰詩集『草堂集』や『ふるさと』等の自撰歌集稿をそれ自体一個の作品として精究し，その神髄を明らかにすることは，文学史的な評価・位置づけにも不可欠な根幹的研究課題の一つである。良寛の文業を特徴付ける，思想と言語芸術の両面，また和漢の両面を常に視野に入れながらその特質に迫っていく。 |
| | 言語文化史 | 教授　青木　　毅 | ことばはなぜ変化するのか。それは，ことば自体に内在する要因とことばを取り巻く社会的・文化的な要因とに基づくと考えられる。本講座では，具体的なことば(日本語)を取り上げて，歴史的な変化(変遷)の実態とその要因とを文献史料に基づいて明らかにする。 |

# 徳島文理大学大学院文学研究科
# 博士後期課程入学願書

2025(令和７)年度

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | | 男・女 | 受験番号 |
| 氏名 | | | (記入不要) |
| 生年月日 | 年　月　日 | | |

| | 研究区分 | 講座 | 担当教員 |
|---|---|---|---|
| 第１志望 | | | |
| 第２志望 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 受験科目 | 外国語<br>(選択科目を○で囲む) | 英語 ・ ドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国古典 |
| 最終学歴 | 大学　学部　学科<br>大学院　研究科　専攻 | |
| 卒業・修了(見込)年月 | (西暦)　年　月　卒業 ／ 修了 ・ 卒業見込 ／ 修了見込　(○で囲む) | |

| 職歴<br>〔在職中の者は，記入してください〕 | 在職期間 | | | | | 勤務先・職種(職名)等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 年(西暦) | 月 | ～ | 年(西暦) | 月 | |
| | | | ～ | | | |
| | | | ～ | | | |
| | | | ～ | | | |

| | |
|---|---|
| 受験票等送付先 | 〒<br>自宅電話番号(　　) 携帯電話番号(　　)<br>メールアドレス(　　@　　) |

受験票等送付先には，受験票，合否通知，入学手続等の書類を受取る住所を記入してください。

切り取らないこと

## 入学検定料払込証明書 貼付欄

振替払込受付証明書
払込金受付証明書

(志願者→金融機関→志願者→大学)

入学検定料 30,000円

・全面のりで貼ってください。
・金融機関の領収印がないものは無効です。

切り取らないこと

2025(令和７)年度
徳島文理大学
大学院文学研究科　博士後期課程

## 写真票

| 受験番号 |
|---|
| (記入不要) |

顔写真貼付欄

・サイズ 縦4cm×横3cm
・上半身・無帽・正面
・３か月以内に撮影
・写真の裏面に氏名を記入してください。

| | |
|---|---|
| 専攻 | 地域文化専攻 |

| | |
|---|---|
| フリガナ | |
| 氏名 | |

様式３

年　　月　　日

徳島文理大学長　殿

所　在　地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

役　　職＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

# 受　験　許　可　書

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿年　　月　　日生

上記の者が，徳島文理大学大学院文学研究科地域文化専攻博士後期課程入学試験を受験することを許可します。

なお、同人が貴大学院文学研究科に入学した場合には、在職のまま就学することを承諾いたします。

**個人情報の取り扱い**

学校法人村崎学園及びその設置する学校・大学及び短期大学部は，「個人情報の保護に関する法律」に基づき，「学校法人村崎学園個人情報保護規程」を制定し，個人情報の適正な保有や利用につとめています。つきましては，出願・入学手続等で提出された個人情報は，次のこと以外に使用することはありません。入学者選抜資料，入学試験に関する業務，学生募集に関する業務（出身校への入学試験情報の提供，入学希望者への入試情報及びイベント情報の提供），入学後の指導資料，統計的集計等に使用します。

**徳島文理大学大学院文学研究科**

〒769-2193　香川県さぬき市志度1314-1
TEL　087-899-7100